

# 金剛地区の将来イメージについて

## (1) 現在のまちの姿

○交通機能(駐車・駐輪場含む)が大半を占める駅前広場  
飲食・日常購買、滞留できる施設を求める声が多い。



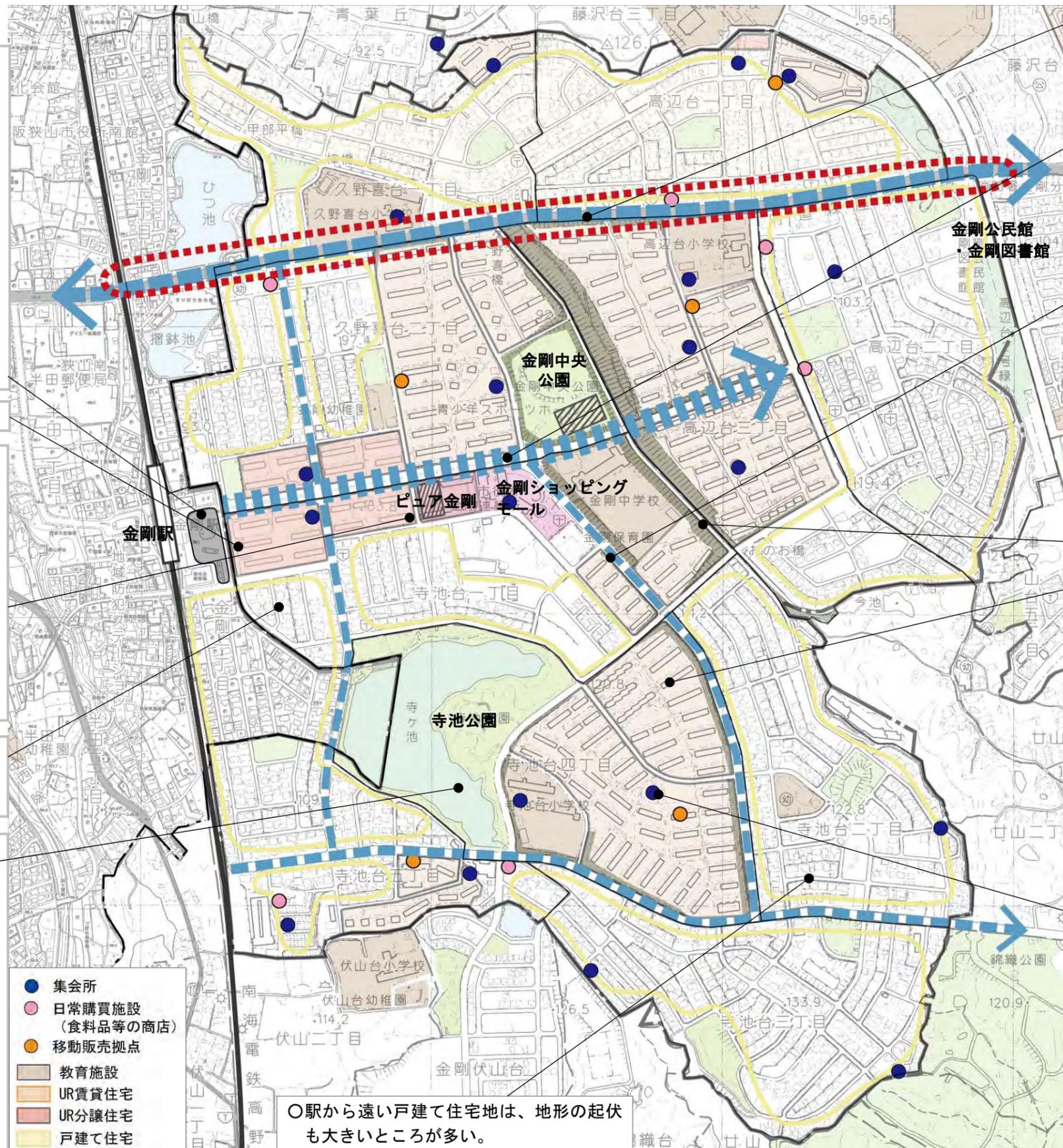
○駅前の好立地にある古い団地

○地域の中心となるエリアに、大部分が空きとなっている施設がある。



○駅に近い戸建て住宅地は地形も比較的平坦。飲食店・サービス施設(兼用住宅)等も立地する。

○地域のシンボリック存在だが、豊かな緑や水辺が活かされていない寺池公園。(さくら祭りの時には存在感あり?)



○駅から遠い戸建て住宅地は、地形の起伏も大きいところが多い。

○交通量が多い府道  
店舗・サービス施設(兼用住宅)も立地。

○緑に囲まれ快適な「ふれあい大通り」



○一方、その他の「通り」には個性、魅力が感じられにくい。



○地域を分断する谷筋

○UR賃貸住宅は大街区で、道路沿いは長大な法面・擁壁で周辺とのつながりに欠ける部分が多い。



○UR賃貸住宅の集会所等では、「交流喫茶」や「移動販売」などの取り組みが始まっている。



(2) まちの将来像 (目標像)

※意見交換会での意見等をもとに作成

**金剛駅前～「ふれあい大通り」～センター地区 (銀座商店街・連絡所等)**  
 ー豊かな時が過ごせ、交流の生まれる「広場」「施設」が繋がり、生活サービス拠点を形成する通り



ーまちづくりの中心拠点 (レンタル活動スペース、一元的情報ステーション、交流、活動支援等)



ー生活を支える商業・サービスの充実



**愛着の持てる「通り」への再生**

ー愛称のある通り

ー沿道への小規模な店舗・施設などの導入

ー沿道マルシェなど、人が集まるイベントの開催

ー沿道の法面等の美化・緑化



**中央公園** ー参加できるプログラムが充実した「健康づくり・学び」拠点。各種イベント等が行われる交流拠点。



**寺池公園** ー住民参加で再生してマネジメントする、水辺と緑を楽しむ公園。



その他の公園も、「身近なパークマネジメント」で「使われる公園」へ

**多様な住まい**

新築戸建住宅、駅近のマンション、高齢者向け住宅  
 賃貸住宅、シェアハウス、DIY住宅、リフォーム住宅  
 自然派生活のできる住宅、アトリエ付き住宅 …

**空き家、空き施設、空き地の活用**

ーまちづくり拠点のサテライト (自治会、NPO、コミュニティビジネスの拠点)、身近な居場所、交流の場



**守り育てる住環境と魅力の向上**

ー生け垣や石積みなど古くから親しみのある景観の保全  
 ー建替や改修をする時のルール (建築協定など地域の意思で決めて守るルール)  
 ー空き家利用等による「身近な居場所」や「交流の場」が充実することによる魅力アップ

- |                    |          |                      |
|--------------------|----------|----------------------|
| ● 集会所              | ■ 教育施設   | 【今後、取り組みを行う拠点等】      |
| ● 日常購買施設 (食料品等の商店) | ■ UR賃貸住宅 | ● まちづくり拠点・生活サービス拠点   |
| ● 移動販売拠点           | ■ UR分譲住宅 | ● 再生の取り組みを行う公園       |
|                    | ■ 戸建て住宅  | ● 交流・文化活動などの多様な活動の拠点 |

※「今後、取り組みを行う拠点等」はイメージであり実際に実施する場所を示すものではありません。